

令和3年4月15日

令和3年度第1回

交野市文化財保存活用地域計画協議会

参 考 資 料

生涯学習推進部社会教育課文化財係

参 考 資 料 一 覧

参考資料1 交野市内主要文化財一覧

参考資料2 交野市の文化財の保存・活用に関する課題

参考資料3 文化財所有者・関係各課アンケート集計結果

参考資料4 文化財フォーラム参加者アンケート集計結果

参考資料5 文化財保存活用地区（案） 私部地区

参考資料6 文化財事業の年次別工程表（案）

交野市主要文化財一覽

(地区別)

交野市教育委員会

星田地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
指定	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音立像	星田寺	星田2丁目	H2.6.1	平安時代後期	小松寺伝来と伝える。観音堂前に詠歌額を掲げる
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 薬師如来立像	薬師寺 (一時移動中)	星田1丁目	H2.6.1	室町時代	
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 千体仏 薬師如来立像(472軀) 地藏菩薩坐像(192軀) 地藏菩薩立像(5軀) 菩薩形立像(2軀)			H2.6.1	室町時代	
	市	市有形	美術工芸品	書跡等	星田村地詰帳(星田村庄屋文書)			H18.9.1	江戸時代前期	延宝5年(1673)、その他未整理史料あり。
	市	市有形	美術工芸品	書跡等	星田村絵図 元禄十年星田村絵図 天保十四年星田村絵図 星田村大絵図	交野市 (教育文化会館)	星田地区	H18.9.1	江戸時代	
	市	市有形	美術工芸品	歴史	神祖營趾之碑(徳川家康宿營之碑)	個人	星田2丁目	H22.9.1	江戸時代後期	文化3年(1806)
未指定	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 地藏菩薩立像	薬師寺	星田1丁目	—	鎌倉時代中期～南北朝時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像			—	室町時代前期前半頃	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像			—	室町時代後期	石龕仏
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 二尊仏			—	室町時代後期～桃山時代	石龕仏
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 比丘形横向立像			—	桃山時代	石龕仏
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 九重層塔			—	室町時代後期	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			—	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	—	有形	美術工芸品	彫刻	六字名号碑			—	桃山時代後半	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音立像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地藏菩薩坐像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 善導大師立像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 法然上人坐像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 弘法大師坐像			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	版本一休宗純墨跡			—		
	—	有形	美術工芸品	工芸	鉦			—		
	—	有形	美術工芸品	工芸	鑿	—				
	—	有形	美術工芸品	工芸	鰐口	—				
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 釈迦仏	光林寺	星田1丁目	—	室町時代後期	元は愛染律院にあった
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像			—	室町時代後期	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像			—	室町時代後期	石龕仏
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			—	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 釈迦如来立像及び両脇侍像			—	江戸時代	文殊は平安時代後期
—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地藏菩薩立像	—			大師堂安置		
—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀三尊像	—					
—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像	—			江戸時代か		

未指定	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地藏菩薩立像	光林寺	星田1丁目	—	江戸時代	大師堂安置
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地藏菩薩立像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 弘法大師坐像			—		大師堂安置
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 僧形坐像			—		大師堂安置
	—	有形	美術工芸品	絵画	十三仏画像			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	当麻曼荼羅			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	宣空俊山上人位牌			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	茵			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 大黒天立像	星田寺	星田2丁目	—	南北朝時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像			—	南北朝時代～室町時代前期前半	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像2軀			—	室町時代後期	石龕仏
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 二尊仏			—	室町時代後期	石龕仏 阿弥陀如来立像
	—	有形	美術工芸品	彫刻	五輪塔基礎			—	室町時代後期	永禄6年、遠藤昌俊成名銘。
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 宝篋印塔笠部・相輪部			—	南北朝時代～室町時代前期前半	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			—	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 不動明王立像及び二童子像			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 毘沙門天立像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 僧形八幡神坐像			—		宝鏡・剣・宝珠が付属する
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 弘法大師坐像			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	不動明王像			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	扁額			—		
	—	有形	美術工芸品	工芸その他	鉄眼版大般若経			—		
	—	有形	美術工芸品	工芸その他	鉞	—				
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 愛染明王坐像	光明寺	星田2丁目	—	室町時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地藏菩薩立像			—	室町時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像			—	室町時代後期	石龕仏
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 二尊仏			—	桃山時代	石龕仏(左)地藏菩薩立像、(右)阿弥陀如来立像
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 宝篋印塔基礎			—	室町時代後期	天文18年銘。
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 羽目石			—	南北朝時代～室町時代前期	
—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 宝篋印塔基礎	—			室町時代前期～中期		
—	有形	美術工芸品	書跡等	絹本着色 阿弥陀聖衆来迎図	—			室町時代		
—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音立像	慈光寺	星田3丁目	—	平安時代後期		
—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 如来形立像			—	平安時代後期		
—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像			—	南北朝時代～室町時代前期前半	「鍋賀地藏」	
—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 十三仏			—	桃山時代後半		
—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像3軀			—	南北朝時代～室町時代前期		
—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 宝篋印塔基礎			—	室町時代前期～中期		

傍示地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考	
未 指 定	指定	国	重文	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	八葉蓮華寺	大字傍示	S60.6.6	鎌倉時代	追加指定 (僧惠敏發願阿弥陀経等一卷及びア(梵字)阿弥陀仏宛書状等三通一枚、釈迦如来名等一卷) S62.06.06
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 五輪塔基礎	廢蓮華寺跡	大字傍示	—	室町時代後期	明応元年(1492) 銘あり	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 五輪塔水輪			—	南北朝時代		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 地藏菩薩立像	傍示区 (共同墓地手前)		—	室町時代後期		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像			—	桃山時代		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像	傍示区 (共同墓地)		—	室町時代後期		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 二尊仏2軀			—	室町時代後期～桃山時代	石龕仏(左)地藏菩薩立像、(右)阿弥陀如来立像	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔2基			—	室町時代後期前半		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材 2基			—	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 二尊仏	傍示地区 (北浦の辻)		—	室町時代後期	石龕仏(左)地藏菩薩立像、(右)阿弥陀如来立像	
—	民俗	民俗	無形民俗	上人さん(御回在、12月上旬)	傍示区	傍示地区		—	昭和時代	大阪市平野大念寺の十一尊天徳如来(掛け軸)が巡ってくる	

寺地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
指定	国	重文	建造物	建築物	山添家住宅	個人	寺2丁目	S44.6.20	江戸時代中期	宝永2年(1705)「板礼」
	府	府有形	美術工芸品	考古資料	交野東車塚古墳出土品	交野市	寺南野	H6.12.12	古墳時代中期	
	府	府史跡	記念物	史跡 (古墳)	交野東車塚古墳	大阪府		H3.3.29		
未指定	-	遺跡	記念物	遺跡 (古墳)	大畑古墳	個人	寺1・2丁目	-	古墳時代中期	全長85mの前方後円墳
	-	有形	美術工芸品	考古資料	大畑古墳出土遺物	交野市		-		
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像	正行寺	寺2丁目	-	室町時代後期	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像			-	室町時代後期	石龕仏
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 二尊仏			-	室町時代後期	石龕仏
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像			-	江戸時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	聖徳太子像			-	江戸時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	七高僧像			-		
	-	有形	美術工芸品	彫刻	親鸞像			-		
	-	有形	美術工芸品	彫刻	良如像			-		
	-	有形	美術工芸品	彫刻	湛如像			-		
	-	有形	美術工芸品	彫刻	蓮如像			-	明治時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	不動明王梵字碑	京の山(関西創 価学園入口)	寺3丁目	-	鎌倉時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像2軀	寺区 (共同墓地)	大字寺	-	室町時代中期・後期	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像			-	室町時代後期	石龕仏
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 二尊石仏			-	室町後期～桃山時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	五輪塔(空風輪・火輪)2基			-	室町時代前期～中期	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔			-	室町時代後期	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			-	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 地藏菩薩立像	寺区 (かいがけの道)	-	室町時代後期	「かいがけ地藏」	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	磨崖 阿弥陀如来坐像	-	-	室町時代中期	「ごみの木地藏」	
-	遺跡	記念物	遺跡 (古墳)	鍋塚古墳	大阪府(前方部) 交野市(後方部)	-	-	古墳時代前期	後方部側は森地区、南山遺跡	
-	遺跡	記念物	遺跡 (古墳)	塚穴古墳(寺古墳群)	個人	-	-	古墳時代後期	円墳	
-	民俗	民俗	有形民俗	だんじり1基	寺区	大字寺	-	江戸時代後期		
-	民俗	民俗	無形民俗	竜王祭(3月8日)		-	寺地区	-	昭和時代	
-	民俗	民俗	無形民俗	愛宕講(4月23日)						

森地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
指定	市	市有形	美術工芸品	歴史資料	紙本著色 石清水八幡宮放生会絵巻	個人	森南1丁目	H19.11.1	江戸時代中期	
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	交野市 (教育文化会館)	大字森	H19.11.1	南北朝時代	常德庵
未指定	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	須弥寺	森南3丁目	—	南北朝時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像			—	江戶時代	当寺本尊
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 千手観音立像			—	江戶時代	宇佐から石清水への警護観音
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 千手観音立像			—	江戶時代	観音堂安置。鎌倉風だが江戸時代前期の作か
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地藏菩薩立像及び二童子像			—	江戶時代	地藏堂安置
	—	有形	美術工芸品	彫刻	不動明王坐像			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	阿弥陀三尊像			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	善導大師・法然上人立像			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 西誉上人坐像			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 西念行者立像			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 僧形坐像			—	江戶時代	観音堂の縁に安置。賓頭盧か
	—	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	当麻曼荼羅図			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	千手観音像			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	西願上人像			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡	六字名号			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	工芸・その他	月輪			—	江戶時代	観音堂所在
	—	有形	美術工芸品	工芸・その他	鑿			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	工芸・その他	鉦			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	工芸・その他	罎口			—	江戶時代	観音堂所在
	—	有形	美術工芸品	工芸・その他	扁額			—	江戶時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡等	森村庄屋文書			—	江戸～明治時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 三尊仏			森区 (共同墓地)	大字森	—
—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 五輪塔火輪	—	室町時代前期～中期				
—	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔	—	室町時代後期				
—	遺跡	記念物	遺跡 (古墳)	鍋塚古墳	交野市(後方部) 大阪府(前方部)	大字森	—	古墳時代前期	前方部側は寺地区	
—	遺跡	記念物	遺跡 (古墳)	森古墳群	個人	大字森	—	古墳時代前期		

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
未 指 定	—	有形	美術工芸品	考古資料	森古墳群出土遺物	交野市		—		
	—	民俗	民俗	有形民俗	だんじり1基	森区 (川東神社)	森南2丁目	—	江戸時代後期	彫師 柳原清蔵
	—	民俗	民俗	無形民俗	正居(2月3日)	須弥寺	森南3丁目	—	昭和時代	森村記念日と伝わる
	—	民俗	民俗	無形民俗	放生会(9月15日)	森区		—		石清水祭、火長神人

郡津地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備 考	
未 指 定	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	明遍寺	郡津1丁目	—	室町時代	本尊像	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 脇侍像			—	江戸時代	本尊像	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像			—	室町時代前期～中期	鎌倉墓	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 九重層塔			—		元、郡津神社にあり	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔2基			—			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像			—	江戸時代	—	台座内に手習い風の戯書あり
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像			—		観音堂安置	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 善導坐像			—			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 善導坐像			—			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 法然坐像			—			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 法然坐像			—			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	塑造 十一面観音坐像			—		観音堂本尊像	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音坐像			—		観音堂安置	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 薬師如来立像			—		観音堂安置、厨子入り	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 不動明王立像			—		観音堂安置	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 愛染明王坐像			—		観音堂安置、厨子入り	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 弁財天坐像			—	観音堂安置、厨子入り		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 弁財天坐像			—	観音堂安置		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 神将形立像			—	観音堂安置		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 釈迦苦行像・愛染明王坐像			—	観音堂安置、厨子入り		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 聖徳太子立像			—	観音堂安置		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 空海坐像			—	観音堂安置		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 役行者倚像及び前鬼後鬼像			—	観音堂安置		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像及び脇侍像			—	明治時代	観音堂安置	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 西国三十三所観音像			—	観音堂安置		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音立像			—	明治～大正時代	観音堂安置、厨子入り(厨子裏面に法名を朱書)	
	—	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図			—	江戸時代		
	—	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図			—			
	—	有形	美術工芸品	絵画	僧形像			—			
	—	有形	美術工芸品	絵画	鶴に牡丹図			—	—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	「明遍寺」寺号額字			—	江戸時代		
—	有形	美術工芸品	書跡	「蓮華三昧院」院額字	—	明治～大正時代					
—	有形	美術工芸品	工芸・その他	位牌	—	江戸時代					
—	有形	美術工芸品	工芸・その他	半鐘	—						
—	有形	美術工芸品	工芸・その他	半鐘	—						
—	遺跡	記念物	遺跡 (寺院)		長宝寺跡	郡津区	郡津1丁目	—	飛鳥～平安時代		

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備 考
未 指 定	—	有形	美術工芸品	考古	長宝寺跡出土瓦群	交野市 (教育文化会館)	郡津5丁目	—	飛鳥～平安時代	
	—	遺跡	記念物	遺跡 (古墳)	丸山古墳	極楽寺	郡津5丁目	—	古墳時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡等	郡津村文書	交野市 (教育文化会館)	—		江戸～明治時代	

倉治地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
指定	国	登録	建造物	建築物	交野市立教育文化会館 (旧交野無尽金融株式会社本屋)	交野市	倉治6丁目	H19.12.5	昭和4年	
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	廃岩倉開元寺関係石仏群 石造弥勒仏坐像 摩崖三尊像 石造阿弥陀如来立像 摩崖阿弥陀三尊像 石造二尊立像	倉治区	大字倉治	H14.9.1	室町時代	
	市	市有形	美術工芸品	考古	倉治古墳群出土品	交野市 (教育文化会館)	東倉治3丁目	H12.4.1	古墳時代後期	
	市	市有形	美術工芸品	考古	廃岩倉開元寺出土懸仏 銅造千手観音坐像 銅造独尊坐像	交野市 (教育文化会館)	大字倉治	H19.11.1	鎌倉時代	
未指定	—	有形	美術工芸品	絵画	絹本着色 十六善神像	機物神社 (天王寺美術館)	倉治1丁目	—	室町時代中期	文明8年銘
	—	有形	美術工芸品	書籍等	機物神社文書	機物神社		—	江戸～明治時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 愛染明王坐像	光明院	倉治6丁目	—	室町時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地藏菩薩立像			—	室町時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 板碑形二尊 2軀			—	桃山時代	左)地藏菩薩立像、 右)阿弥陀如来立像
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像5軀			—	室町時代中期前半～桃山時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 地藏菩薩立像			—	南北朝時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 如意輪観音坐像			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 毘沙門天立像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 聖観音立像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	銅造 釈迦誕生仏立像			—		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 善導大師・法然上人坐像			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図	—	室町時代	当寺本尊		
	—	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図	—	江戸時代			
	—	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図	—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	位牌	—				
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	普通寺	倉治6丁目	—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	方便法身尊像			—	桃山時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	方便法身尊像			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	聖徳太子画像			—	江戸時代	
—	有形	美術工芸品	絵画	七高僧画像	—					
—	有形	美術工芸品	絵画	親鸞聖人画像	—			「普通寺由緒」によれば、宝永元年(1704)		
—	有形	美術工芸品	絵画	蓮如上人画像	—			「普通寺由緒」によれば、弘化4年(1847)		

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
未 指 定	—	有形	美術工芸品	絵画	良如上人画像	善通寺	倉治6丁目	—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	文如上人画像			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	本如上人・広如上人連坐像			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	六字名号			—	室町時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡	十字名号			—	桃山時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡	『唯信妙』文			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	工芸	半鐘			—		
	—	有形	美術工芸品	書籍等	加地家文書	個人		—	江戸～明治時代	
	—	有形	美術工芸品	書籍等	金澤家文書	個人		—	江戸～明治時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像5軀	倉治区	東倉治3丁目 (源氏滝入口)	—	室町時代中期前～桃山時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	不動明王磨崖梵字碑	倉治区	東倉治3丁目 (源氏の滝)	—	江戸時代前期	
	—	有形	美術工芸品	書籍等	貴志家文書	個人寄託 (教育文化会館)		—	江戸～明治時代	
	—	有形	美術工芸品	考古資料	開元寺礎石	交野市 (教育文化会館)	神宮寺2丁目	—	奈良時代	
	—	有形	美術工芸品	考古資料	旧石器・縄文土器			—	旧石器～縄文時代早期	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	聖観音磨崖梵字碑	倉治区	大字倉治	—	江戸時代前期	交野山(観音岩)
	—	有形	美術工芸品	彫刻	三宝荒神磨崖梵字碑			—		交野山
	—	有形	美術工芸品	彫刻	大日如来磨崖梵字碑			—		交野山
	—	民俗	民俗	無形民俗	牛回し(1月3日)	神宮寺地区	神宮寺1丁目	—	昭和時代	
	—	民俗	民俗	無形民俗	七夕(7月7日)	機物神社	倉治1丁目	—		河内名所図会などに紹介
	—	民俗	民俗	無形民俗	上人さん(12月上旬)	光明院	倉治6丁目	—		
—	民俗	民俗	無形民俗	亥の子(12月4日)	倉治区	倉治地区	—			

私市地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
指定	国	国宝	美術工芸品	彫刻	木造 薬師如来坐像	獅子窟寺 (収蔵庫)	大字私市	S43.3.16	平安時代前期	
	国	登録	建造物	工作物	天野川砂防堰堤	大阪府	私市9丁目	H15.1.31	明治30年頃	
	国	登録	建造物	工作物	尺治川砂防堰堤		私市9丁目	H15.1.31	明治時代後期	
	国	登録	建造物	工作物	尺治川床固工		私市7・9丁目	H15.1.31	明治時代後期	
	府	府重美	美術工芸品	彫刻	石造 地藏菩薩立像	私市区 (共同墓地)	私市8・9丁目	S34.9.25	鎌倉時代後期	弘安4年銘 「弘安地藏」
	府	府史跡	記念物	名勝	磐船峡	国ほか	私市9丁目	H30.3.23		
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 聖観音立像	私市区	私市3丁目	H4.8.1	平安時代後期	
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 如意輪観音坐像		私市3丁目	H4.8.1	室町時代	
市	市有形	美術工芸品	考古	梵文光明真言刻銘瓦質土器	交野市	大字私市	H12.4.1	室町時代		
未指定	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 十三重層塔	松宝寺	私市1丁目	-	鎌倉時代後期～南北朝時代	元は千手寺にあったと伝わる。
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像			-	平安時代後期	左右に毘沙門天立像と比丘形立像を配する
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音立像			-	室町時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像			-	江戸時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像			-	明治時代か	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 良忍坐像			-	明治時代か	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 法明坐像			-	江戸時代か	地藏堂安置
	-	有形	美術工芸品	彫刻	石造 地藏菩薩立像石仏			-	-	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	銅造 如来形立像			-	江戸時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	阿弥陀聖来迎図			-	明治時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	仏涅槃図			-	江戸時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	阿弥陀聖来迎図			-	江戸時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	位牌			-		
	-	有形	美術工芸品	彫刻	半鐘	-				
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地藏菩薩立像	千手寺	私市区	-	江戸時代	
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 不動明王立像					
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像					
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 薬師如来立像					
	-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 弘法大師坐像					
	-	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図					
-	有形	美術工芸品	絵画	諸尊来迎図						
-	有形	美術工芸品	工芸その他	位牌						
-	有形	美術工芸品	工芸その他	鉦		観音講伝来				
-	有形	美術工芸品	彫刻	木造 大日如来坐像	蓮華寺	私市区	-	江戸時代		

私部地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
指定	国	重文	建造物	建築物	北田家住宅	個人	私部1丁目	S54.2.3	江戸時代中期	
	国	登録	建造物	建築物	山野家住宅	個人	私部7丁目	H15.1.31	江戸～明治時代	江戸末/大正末移
	市	市史跡	記念物	史跡	私部城跡	交野市	私部6丁目他	H30.10.1	室町時代後期	
未指定	—	有形	美術工芸品	書籍等	北田家所蔵文書	個人	私部1丁目	—	江戸～明治時代	
	—	有形	美術工芸品	書籍等	原田家所蔵文書	個人		—	江戸～明治時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 地藏菩薩立像	私部区 (空禅藪)		—	室町時代中期	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 層塔屋蓋部			—	南北朝時代か	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 五輪塔空風輪(水輪部)			—	南北朝時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 欄間	私部区 (神社事務所)	—	桃山時代	元、現光寺本堂	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像	私部区	私部3丁目	—	室町時代後期か	「学び地藏」
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像			—	室町時代中期	「奥部屋地藏」
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 如来三体			—	室町時代後期	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 板碑形阿弥陀如来坐像	光通寺	私部5丁目	—	室町時代後期	「向井山地蔵」、私部城本郭
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 観音菩薩立像			—	室町時代後期	「またべ地藏」
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 聖観音立像			—	鎌倉時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 聖観音坐像			—	室町時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 香合			—	南北朝時代	後筆銘あり
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 棟札			—	寛文4年(1664)	安見右近の記述あり
	—	有形	美術工芸品	彫刻	別峰和尚の寂照塔			—	室町時代中期	「応永九壬午年」(1409)の銘
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来立像6軀			—	室町時代中期～桃山時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像			—	室町時代後期	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 五輪塔基壇			—	南北朝時代～室町時代前期前半	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音立像			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	塑造 不動明王坐像			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 別峯大殊頂相			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 役行者倚像及び前鬼後鬼像			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	絹本着色 無準師範頂相・弁翁頂相			—	室町時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	別峯大殊頂相	—	南北朝時代			
	—	有形	美術工芸品	絵画	無準師範頂相	—	室町時代	京都・東福寺本の転写本		
	—	有形	美術工芸品	絵画	弁翁頂相	—	室町時代	頂相の部分は江戸時代の補彩か		
	—	有形	美術工芸品	絵画	雲関頂相	—	江戸時代	応永18年の賛があるが、江戸時代の転写本か		
	—	有形	美術工芸品	絵画	伯蔭頂相	—	室町時代末～江戸時代初期			
	—	有形	美術工芸品	絵画	聖一国師頂相	—	江戸時代			
—	有形	美術工芸品	絵画	達磨図	—					

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備考
未 指 定	—	有形	美術工芸品	絵画	出山釈迦図	光通寺	私部5丁目	—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	釈迦十六善神像			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	楊柳観音図			—		
	—	有形	美術工芸品	絵画	帝釈天曼荼羅?			—	中国・明時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡	日本円光国師行道記			—	江戸時代	永楽3年(1405) 大方道遐撰
	—	有形	美術工芸品	書跡	円光国師三十三回忌香語			—	室町時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡	円光国師三百年忌香語			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡	円光国師三百五十年忌香語			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	円光国師四百五十年忌香語			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	南岳悦山墨蹟「暮道山家不勝燈」			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	「光通寺」寺号			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	木堂光欣墨蹟「寂荘照」			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	東海墨蹟「放下著」			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	墨蹟「一声啼鳥破迷夢」			—		
	—	有形	美術工芸品	工芸	香合			—	南北朝時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡	鏡台			—	江戸時代	
	—	有形	美術工芸品	書跡	鑿			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	半鐘			—		
	—	有形	美術工芸品	書跡	燈籠			—		
	—	有形	美術工芸品	書籍等	光通寺所蔵文書	—	桃山時代～江戸時代	慶長9年の女房奉書1通、寺社伝奏披露状2通含む		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石龕仏 二尊仏	—	室町時代後期頃か	左)地蔵菩薩立像、右)阿弥陀如来立像仏		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 阿弥陀如来坐像5軀	—	室町時代中期～桃山時代			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 地蔵菩薩立像	—	室町時代前期頃か			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 比丘形横立像	—	桃山時代か			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 十一重層塔	—	鎌倉時代後期後半～南北朝時代			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材?	—	不明	宝瓶三茎蓮文様		
	—	有形	美術工芸品	彫刻	石造 六字名号碑	—	桃山時代			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 地蔵菩薩立像	—	室町時代			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像及び阿脇土像	—	江戸時代			
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来瑠立像	—				
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 善導坐像・法然坐像	—				
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 空海坐像	—				
—	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀二十五菩薩来迎図	—					
—	有形	美術工芸品	絵画	釈迦三尊像	—					

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備 考		
未 指 定	—	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図	想善寺	私部5丁目	—	江戸時代			
	—	有形	美術工芸品	絵画	鑿			—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	半鐘			—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	鐘堂棟札			—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	位牌			—				
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	無量光寺	私部5丁目	—	平安時代			
	—	有形	美術工芸品	工芸品	梵鐘			—	享保5年(1730).	安見の記述あり		
	—	有形	美術工芸品	書籍等	無量光寺所蔵文書			—				
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像			—				
	—	有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像			—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	聖徳太子像			—	江戸時代			
	—	有形	美術工芸品	絵画	七高僧像			—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	了道像			—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	七言絶句 広如筆			—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	半鐘			—				
	—	有形	美術工芸品	絵画	位牌			—				
	—	民俗	民俗	有形民俗	だんじり2基			私部区 (住吉神社)		私部1丁目	—	江戸時代中期・後期
	—	民俗	民俗	無形民俗	稲荷祭(2月初の牛の日)			北田家 (稲荷社)	—		昭和時代	野施行
	—	民俗	民俗	無形民俗	本恩講さん(12月上旬)	無量光寺	私部5丁目	—				
	—	民俗	民俗	無形民俗	ふいご祭り(12月8日)	鍛冶屋	私部地区	—				

交野市の文化財の保存・活用に関する課題

課題類型細分	課題名	内容
文化財の把握に係る課題	古文書調査の課題	市所蔵・寄託の古文書についても、調査・整理・報告が終わっていない。個人所有の古文書については、調査の機会が得られにくい。未調査のまま散逸する恐れもある。
	住宅調査の課題	令和2年度に町並みの悉皆調査を行ったが、個別に住宅の調査を行わないと、その年代等を判定して、適切な保全を図ることは難しい。
	天然記念物（樹木等）調査の課題	環境衛生担当により「市指定樹木」が指定されているが、天然記念物として調査・保全が図られていない。
	民俗文化財の調査の課題	風習・行事について交野町史作成時等の調査があるが、写真等の記録が少ない。
	文化財指定・登録の課題	未指定文化財の調査をふまえて、適切に文化財の指定・登録を行う必要がある。
保存に関する課題	保存にかかる費用負担	建造物をはじめとして、災害時等の補修費用にかかる所有者への費用負担が大きい。
	文化財の保全に関する課題	指定文化財について、補修の必要が生じているものがあつた。文化財所有者との連絡体制を十分に行い、適切に対処する必要がある。
	関連団体と連携した防災対策	消防局の防火対象物となっているのは、国指定重要文化財の北田家住宅・山添家住宅の2件のみ。各地区の消防団による建造物等の文化財の把握状況は不明である。
	文化財の防火・防災訓練について	現状では、指定・登録文化財の訓練実施は所有者の裁量により、市等の指導による訓練は実施されていない。
	山地所在文化財の防災対策	獅子窟寺をはじめとして、山地部所在文化財について、地震・台風・火災等の災害時の対策が十分ではない。
	防犯対策	国指定文化財の防災設備の補修がなされていなかった。他文化財についても防犯対策については、所有者、地区に任せられている。過去に寺院、民家等で未指定文化財の盗難が起きており対策が求められる。
	文化財保管場所の制限	市文化財収蔵スペースが限定されており、民具、古文書等の文化財の寄託・寄贈を受けることが難しくなりつつある。
災害時の対応	指定・登録文化財所有者の中でも災害時の連絡・対応の体制が整えられていない。	

課題類型細分	課題名	内容
活用に関する課題	公開担当者の不在	文化財所有者に対応していただいていたものがあるが、所有者のみで対応することが困難になっているケースがある。
	公開に伴うマナーの問題	見学にきたお客さんがごみを捨てて帰る。
	文化財行事参加者の固定化・高齢化	近年、60代以上に偏る傾向が強く、顔ぶれも固定化されつつある。新規の市民、特に若年世代の取り込みができていない。
	文化財見学方法の周知の課題	ホームページ、観光マップ等で周知しているが、わかりづらく、周知が十分ではないとの指摘がある。
	ホームページの課題	市HPで文化財や交野の歴史を体験的に知るページがないこと。
	文化財案内板等の不足	一部の指定・登録文化財に限られる。東高野街道をはじめとする古道についても、現地に表示板があるのは「かいがけの道」など一部に限られる。
	日常的に居住している文化財の活用	日常的に居住している建造物（北田家、山添家、山野家等）活用のためには、文化財に至る導線を整備する必要がある場合もある。
保存と活用の担い手の問題	文化財所有者の高齢化と世代交代の課題	現在、実際に指定・登録文化財の管理・公開に直接あたっている方の高齢化が進んでいる。今後、管理を十分に行えなくなる可能性もある。
	継承者の不在	既に次世代に同様の文化財の管理を引き継いでいないケースもある。
	書類事務の課題	文化財の補修等に係る提出書類作成が大変である。
	関連団体の協力	行政のみによる活動には限界があり、関連団体の協力得ることが必要になる。
	文化財に関する関心の問題	「将来に向けて交野市をどんなまちにしたいか」という市民アンケート（平成28年度）について、「伝統や歴史を大切にすまち」との回答が3.8%と少ない。 ※最も多かった回答は「自然環境が豊かで住みやすいまち」で、63.4%

文化財所有者・関係各課アンケート集計結果

課題類型	対象文化財	意見元	現在の取り組みと課題内容	対応策の提案・要望
保存	北田家住宅・山添家住宅	消防本部 予防課	<p>消防が防火対象物として把握している重要文化財は、私部1丁目の北田邸及び寺2丁目の山添家の2件になります。</p> <p>建物の構造は2件共に木造で消防用設備は消火器、自動火災報知設備、漏電設備（山添家のみ）となっており、フランス パリのノートルダム大聖堂や沖縄県の首里城火災でも建物の構造が木造であるために一度出火してしまえば、消火が困難になりますし、火災が延焼拡大したのは消防訓練不足との指摘もあります。</p> <p>立入検査については、以前より実施していますので継続して実施（隔年実施も検討）が良いと思います。</p>	<p>消防としては毎年1月の文化財防火デーに合わせて社会教育課と合同で消防訓練等実施してはどうでしょうか。訓練といっても、消防隊が放水するといった大掛かりなものではなくて、消火器の取扱いや119番通報、避難の方法等、簡単にできるもの、付近にある公設消火栓及びボックス内のホース等位置の把握や取扱い方法など。</p>
保存	八葉蓮華寺	管理者 伊丹祐子氏	<p>お寺が無住職の為、防災・防犯への取り組みは重文に指定された時、文化庁から建築して頂いた収蔵庫・アラーム・防火扉など当初のままで、不十分だと考えて居ります。</p> <p>保存に関しては、寺の行事・拝観等を行うことが仏像にとっては現在は良い事だと思います。</p> <p>小さな村で、拝観の担当など、自分ができなくなった時にお願いする人がいない事が心配である。</p>	<p>府・市の仕事としては限界があると思うのですが、重文の維持や広報としてお願い出来たらありがたいと思います。</p>
保存	獅子窟寺	獅子窟寺 住職 吉川氏	<p>家族のみでお守りしている国宝です。人里離れていることもあり、色々な面で援助をいただきたい。</p> <p>山林間のパイプ（火災時送水用）が、平成30年（2018）台風21号による被災で破損したままになっている。保存庫の防犯カメラ・テレビが故障している。</p> <p>緊急時対応（電気、電話、水道ガス不通の際）、通信手段がない。災害時に直ぐに対応をいただきたい。</p> <p>保存庫の維持管理が課題。国・府・市へ提出する書類対応に手間がかかる。</p>	
保存	星田寺	星田寺 住職	<p>朝・夕の勤行にて必ず施錠等の確認をしている。</p>	
保存	神祖宮趾之碑	平井邦和氏	<p>約200年前の石碑であり、風雨のため碑文が見にくくなっている。市指定当時に行われた風化防止作業を行っていただきたい。</p>	

課題類型	対象文化財	意見元	現在の取り組みと課題内容	対応策の提案・要望
保存	廃千手寺収蔵庫	千手寺 世話人代表 松尾昭氏	寺は廃寺になっているが、市指定の仏像等を収蔵庫で保管している。 獅子窟寺・松宝寺の導師のもと世話人一同（10名）が参列し、大師祭（4月21日）、修正会（1月3日）を行っている。 毎月、収蔵庫の清掃並びに花替えを行う。	
保存	山野家住宅	山野久幸氏	自身や台風による風害がかなりあり、その都度自費で修理してきたが、かなり毀損した部分もあり、その修理は容易ではない。 現在は建物保険に加入してはいるが、事故があった場合の復元は困難である。	
保存	薬師寺	薬師寺 保存会	寺は無住職となっている。このため、星田薬師如来保存会を発足した。保存会の入会を勧めたり、近隣の人の多くの協力で保存につとめたが、経年劣化で薬師堂の雨漏りや、瓦の傷みがひどくなった。これ以上、保存会として仏像の維持が出来なくなり、市の関係者・区長と協議し、一旦市指定の仏像（薬師如来立像、千体仏）を市の資料館に預かっていただいております。保存会として有難く思います。 また、活動時は火災報知器を取り付けていたが、経費が必要なため、活動休止に伴い、電源をなくし、報知器を使用できないようにした。 保存会の世話人の高齢化が進み（平均年齢78歳）となり、新しい世話人もなりてがなく、会員も少なくなった。 薬師寺の宗派（浄土宗）が、星田に支援してくださる人（お寺を維持する檀家）がなく、お寺の事を話す機会がない。 薬師寺の周りの人が世代交代で関心が薄れつつある。その結果、市・区に直接話（相談）される。	保存会としては、区・区民で団結し、浄土宗に薬師寺の仏像を保存・保管していただける方向で働きかける。そのための費用について具体的に算出する。 現在のお堂を取り壊す場合、仏像の保存方法、周辺との関係が課題になる。具体的な費用を算出し、インターネットも利用して広報し、費用を集める必要がある。

課題類型	対象文化財	意見元	現在の取り組みと課題内容	対応策の提案・要望
活用	神祖宮趾之碑	平井邦和氏	いつでも見学できるよう開放しているが、見学者の中にマナーの悪い方がおり、たまにごみを置いて帰られる方がいる。	
活用	獅子窟寺	獅子窟寺 住職 吉川氏	10日以上前の予約で拝観希望に対応しているが、人員が無く困っております。また、全国からのバス団体の拝観希望が年に5・6回だがある。駐車場の問題、寺までの道路幅が広くなく、色々な面で苦情を受けている。	
活用	山野家住宅	山野久幸氏	居住しているため、公開は出来ない。登録文化財の活用は行っていない。	活用のためには、文化財に至る導線を整備する必要があり、その為の費用を考えてほしい。また、登録された文化財のより詳しい解説等を専門家を交えて考証してほしい。
活用	八葉蓮華寺	伊丹祐子氏	拝観予約や、拝観に来られた方への寺や仏像の説明など、市の文化財担当者の多大な協力により、丁寧に行えて来られたと思います。春と秋の一般公開と旅行会社などグループでの拝観等、小さいお寺ですのにとっても良い対応が出来ましたのも文化財に感謝です。	
活用	廃千手寺収蔵庫	千手寺 世話人代表 松尾昭氏	交野市関連の行事・催事に協力している。 市文化財公開（年2回春・秋）、交野市観光協会（年1回11月）、歴史と趣味の会（10名）、交野市ノルディックウォーク（40名）、交野市体育協会など。 コロナウイルスの影響で、令和3年度は会合等を縮小して実施する予定。	
活用	星田寺	星田寺 住職	電話等で連絡・依頼があれば、収蔵庫を開錠してみたい。	

課題類型	対象文化財	意見元	現在の取り組みと課題内容	対応策の提案・要望
活用	私部城跡	私部城を活かし守る会	<p>1. 私部城跡として保存・活用する範囲が限定されており、明確ではない。 市指定している範囲（二郭・本郭の一部）以外の個人所有地に城の遺構がよく残っている部分がある（本郭北側、本丸池など）。</p> <p>2. 城跡としての見栄え・分かりやすさの課題 ・二郭及び本郭の一部は最近清掃伐採など整備が進んできた。 ・現代的なフェンスなど、戦国時代の城跡としてふさわしくない部分もある。 ・城跡と明示する看板はあるが、それだけでは城跡とはわかりにくい。</p> <p>3. 保存・活用の活動にあたり市だけでなく、活かし守る会など関連団体が協力することが必要。どのように費用負担していくのか策定することも必要。</p>	<p>1. 府と連携し、大阪府指定文化財を目指す。 市以外の土地所有者（活かし守る会会員）の土地を含めて範囲を確定して申請する。 これに伴い発掘調査を促進する。</p> <p>2. 歴史公園化に向け地道に活動を推進する。 （1）櫓風の歴史資料館を建設する。建設費用の100～200万円はクラウドファンディングふるさと納税を活用して資金調達する。城跡としての景観を考慮し、長屋風の資料館としてはどうか。活かし守る会など私部城に関連する団体の拠点として。 （2）花桃など、遺構に悪影響を及ぼさず、見栄えのよい樹木を植樹する。石碑の建立など。</p> <p>3. 私部城跡に関連する団体による定例会議の開催 （1）市の文化財担当、地域振興担当など関連部局と活かし守る会等が参加する。 （2）会議の中で毎年取組むテーマを定め、継承発展的に取り組みを具体的にを行う。 （3）活用についての連携 連携し、年間活用計画を作成し、事業を実施する（城市、盆踊りなど）。 （4）活動にかかる費用分担についての協議</p> <p>4. 私部城Facebookの開設等、城跡のPR活動 城のPR及び城ファン交流の場として開設する。 市文化財担当の役割 毎月1回城に関する情報を提供する。 文化財担当活動のPR。 城に関する質問に答える。 活かし守る会の役割 ・月1回城の保存活用に関する情報を提供する。 ・会のPR ・多くの人に閲覧・書き込みしてもらえるよう支援活動を行う。</p>
活用	全般	政策企画課	<p>・市制50周年記念事業において、まちの歴史等をホームページ等で紹介できる適切な資料がないこと。 ・市HPで文化財や交野の歴史を体験的に知るページがないこと。</p>	

文化財フォーラム参加者アンケート集計結果

参加者数	21						
回答者数	15		回答率	71%			
1. 性別	男性	女性	記入無し				
	11	2	2				
1. 年齢	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～	
	0	0	1	0	1	13	
2. きっかけ	知人の紹介	広報紙	ホームページ	チラシ・ポスター	その他（歴史民俗資料展示室）	その他（古文化同好会）	その他
	4	8	4	2	0	1	1
3. 理解度	よくわかった	ある程度わかった	あまりわからなかった	よくわからなかった	無回答		
	6	8	0	0	1		
4. 大事だと思う文化財	<p>街道・石仏・石柱物（碑含む）・道標等 古い民家 町の中にある文化財 北田家・山添家住宅、平井家、星田駒場のつなぎを含む白壁土壁の街並み、私部城跡、戦国大名の足跡 国指定文化財等の指定文化財の活用 文化財一覧の未指定の数は多くあるが、指定作業は進んでいるのでしょうか。 私部城跡・森古墳群を見やすい方法にしたい。 交野地域だけでなく、今回の河内長野のように他地域との交流に光をあてて考えていき全ての文化財 主要文化財も大切ですが、最近交野の宝である自然をなくしている（市が中心となり）。例えば池を埋めて市役所を移転するとか、交野の宝をなくさないようよく考えてもらいたい。 各文化財について、見学・拝観等可能かどうかわからない 私部城跡と周辺地域の保存 地域の特徴を絞り、市民の関心の高いもの 街並み保存－星田・私市・私部・倉治・神宮寺・郡津地区の地区単位の市民との話 国宝・重要文化財・市指定文化財等がたくさんあります。この機会に整理してはいかがでしょうか。</p>						
5. 感想	<p>立派なフォーラムだったと思う。 コロナ禍だももっとたくさんの人に来てもらえるとよかった。 古い民家をリフォームする場合、市からの費用はどうなるのか。 古い道路の印 交野にはすばらしい財産が残っていることをあらためてわかり、ぜひこれを永久的に残していきたい・でもそこには金銭的、市民の協力、興味関心をいかに集めてまとめていくのそれが本当に難しいということもよくわかりましたという次第です。ですので、これからその活動を少しでも応援できればと思いました。 内容の主旨、その概観を知ることができた。 参加者は高齢者がほとんどです。若い人の参加期待。 調査発表を広報を通じて場所を設定して発表してもらいたい。 日本の最大の利点は歴史です。デジタル社会の中、ますます歴史が大切になってきます。このことを大切にしましょう。 文化財について市民がどうみているのか講座のところは何もなかった。一般の人どんな文化財があるか知らない。 討論会で今後について私の考えと同じで有意義でした。 本フォーラム全体あるいは第三部の座談会の内容は何かのか形で発表等されるのか。 河内長野市関係、最近は河内長野というよりも奥河内としてテレビなどで紹介されることが多く感じます。 校区毎の地域住民子供たちとの対話・集会に文化財保護の課題を広くPRしていくことが重要だと感じました。 法律が決められた様に聞いております。一度説明を聞きたいです。 今日話を聞いておりますと、文化行政も大変な様に思います。期待しております。</p>						

文化財保存活用地区(案) 私部地区



歴史文化
 交野の戦国時代と
 歴史文化等

保存活用地区
 私部城跡・北田家
 住宅・山野家住宅・
 光通寺・無量光寺・
 想善寺

展示
 市役所別館ロビー
 等の活用



案内板 (東高野街道) 郡津区

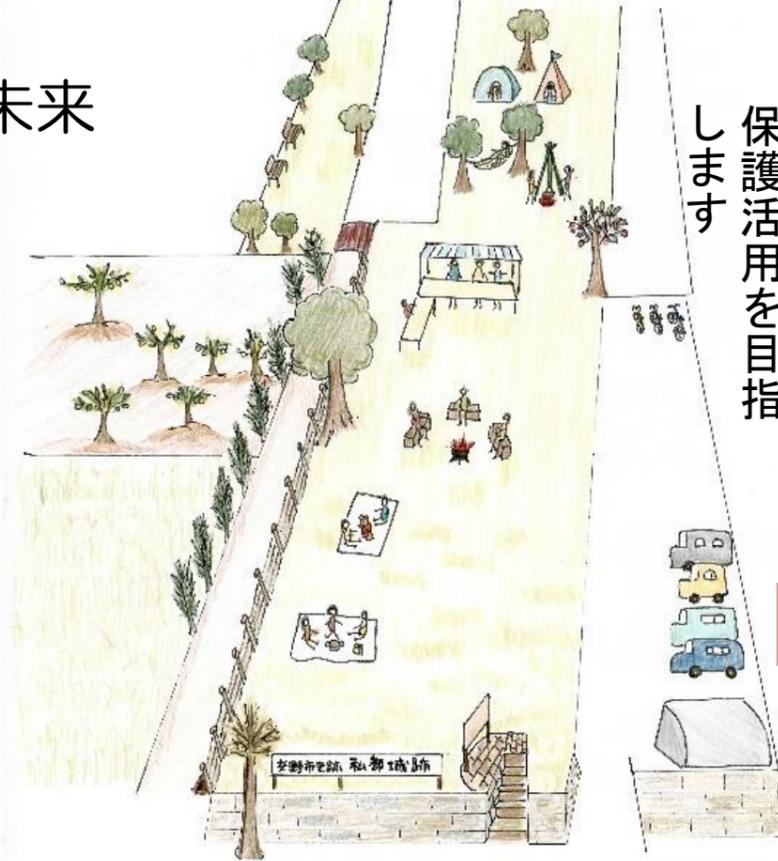
私部城跡広場



戦国時代



現在



官民協働で城の
保護活用を目指
します

お城の学校

お城マルシェ



農産物の販売

私部城〔市史跡指定地/H30.10.1指定〕

私部城は東西約400m、南北約300mの範囲に、本郭を中心に複数の郭が点在した平城であります。府下の中でも残りは極めて良い平城です。

築城時期は1570年前後で、佐久間信盛の娘が嫁ぐなど織田家との関係の深かった安見氏の居城で、織田信長の河内進出の拠点となった重要な城でもありました。

広場整備の目的

〔私部6丁目1720-1他5筆2,420㎡、定員50名以内〕

- ・市内の子供向けに学習場「お城の学校」を提供します。
- ・私部城跡や周辺でできた米や野菜などの販売や戦国の食体験場「お城マルシェ」を提供します。
- ・その他様々なイベントに利用が可能です(東京2020火おこし体験)。
- ・事業は周辺住民が主体に行い、市がサポートします。

青空ピクニックカフェ



憩いの場



城米炊出し



戦国時代の暮らし学習



昔体験(凧揚げ)



防災キャンプ訓練

枚章



文化財事業の年次別工程表(案)

番号	歴史文化	事業名	方針			年次					主な取組主体	
			1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	①	鍋塚古墳の整備	○	○								大阪府・交野市
2		東車塚古墳の展示整備		○								大阪府・交野市
3		塚穴古墳の市史跡化		○								交野市・地元
4		清水谷古墳の市史跡化再整備		○								交野市
5		郡津丸山古墳調査		○								交野市・地元・所有者
6	②	長宝寺跡の発掘調査・再整理		○								交野市
7		長宝寺跡出土品の市指定			○							交野市
8		別館掲示の片山先生、長宝寺跡復元図修理			○							交野市
9	③	磐船神社四社明神の市指定文化財化			○							交野市・地元
10		山岳寺院の総合調査	○	○								交野市
11		観音岩の市指定文化財化	○	○								交野市・地元
12		明遍寺石造物群の市指定文化財			○							交野市・地元
13		獅子窟寺防犯・防災対策事業	○		○							交野市・地元・所有者
14		八葉蓮華寺防犯・防災対策事業	○		○							交野市・地元・所有者
15	④	私部城跡体験学習	○	○								交野市・学校・団体
16		私部城跡周知活動			○							交野市・団体
17		私部城跡物語の作成(新規)			○							交野市・団体
18	⑤	機織り教室			○							交野市・団体
19		河内木綿の商品化(新規)			○							交野市・団体
20		北田家住宅・山添家住宅の公開			○							交野市・地元・所有者
21		七夕のふるさと振興	○	○								交野市・地元・大学
22		近世古文書調査と市史史料編作成			○							交野市・大学
23	⑥	古文書集中調査			○							交野市・大学
24		石工調査		○								交野市・地元
25		教育文化会館の調査			○							交野市・大学
26	⑥	近代産業遺産の調査			○							交野市・大学
27		景観まちづくりの調査			○							交野市・大学
28	その他	防犯防災マニュアルの作成			○							大阪府・交野市
29		区や活動団体への取組支援			○							交野市・地元
30		ジュニアガイドブックの再刊			○							交野市

■重点、■実施